学校番号	402

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ｂ　Advanced（東京書籍）						
副教材等	Hi-PRIME 数学Ⅱ＋Ｂ（東京書籍）,チャート式基礎からの数学Ⅱ＋Ｂ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学を学習することにおいて留意することは,単に公式や定理を暗記して問題を解くだけでなく,数学の用語・記号、公式、定理などを体系的に理解して身に付け活用することです。また数学を学習していく過程で,帰納的な考え方,演繹的な考え方など,数学特有の見方や考え方を学ぶことになります。このような見方や考え方のよさを理解し,何が本質であるかを見抜くことが大切であり,この本質をつかむと,未知のいろいろな事柄にも見通しをもって対処することができるようになります。数学を通して,見通しをもち筋道を立てて考え,判断できる力を身につけるとともに,日常生活や社会生活において数学を積極的に活用することを期待します。

2　学習の到達目標

方程式・式と証明,指数関数・対数関数,数列について理解させ,基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い,数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して，方程式・式と証明,指数関数･対数関数,数列における考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して，方程式・式と証明,指数関数･対数関数,数列における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考察し，表現できる。	数学的活動を通して，方程式・式と証明,指数関数・対数関数,数列において，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の技能を身につけ，的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して，方程式・式と証明,指数関数・対数関数,数列における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。
評価方法	確認テスト 共通課題の取り組み 観察等	確認テスト 共通課題の取り組み 観察等	確認テスト 定期テスト 共通課題の取り組み 観察等	確認テスト 定期テスト 共通課題の取り組み 観察等

上に示す観点に基づいて,学習のまとまりごとに評価し,学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて,それぞれの観点を適切に配分し,評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	数列	【第1節　数列】 1.数列 2.等差数列 3.等差数列の和 4.等比数列 5.等比数列の和 6.和の記号Σ 7.いろいろな数列 【第2節　漸化式と数学的帰納法】 1.漸化式 2.数学的帰納法	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:いろいろな数列に関心をもつとともに，その規則性を表現することのよさを認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b:数列の規則性や一般項，和を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c:数列の一般項や和を求めたり，数学的帰納法を用いて命題を証明したりすることができる。 d:数列の一般項や和，漸化式，数学的帰納法の基本的な概念，性質を理解し，知識を身につけている。	確認テスト 定期テスト 課題等

後期	ベクトル	【第1節　平面上のベクトル】 1.ベクトルの意味 2.ベクトルの加法・減法・実数倍 3.ベクトルの成分 4.ベクトルの内積 【第2節　ベクトルの応用】 1.位置ベクトル 2.ベクトル方程式 【第3節　空間におけるベクトル】 1.空間における座標 2.空間におけるベクトル 3.位置ベクトルと空間の図形	○ ○